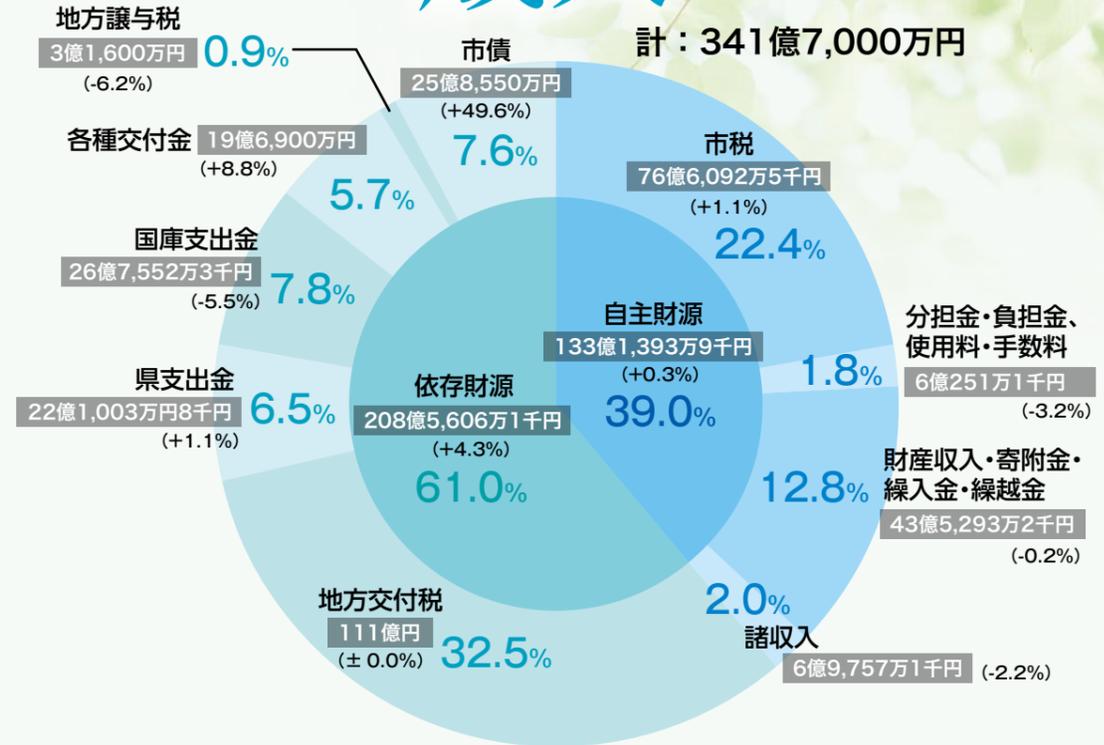


令和5年度 三豊市の予算

歳入



※()は前年度予算額との比較です

真に必要な重点プロジェクト事業に財源を予算化

新型コロナウイルス感染症の動向や原油価格・物価高騰により財政収支の先行きが見通せない状況にあります。しかし、第2次総合計画の5年目となる令和5年度の予算編成については、同計画に掲げる「One MI TOYO」の心となる豊かさ実感都市の実現に向け、重点プロジェクトに必要な事業の財源を確保するため、次の4つの取り組みを行います。

- ・ 三豊市新行政改革大綱に掲げる事務事業の見直し
- ・ 組織機構の見直しおよび最適な人員配置
- ・ 公共施設の再配置
- ・ 歳入確保

そして、真に必要で緊急性の高い実現可能な事務事業について予算化しました。

一般会計予算総額は、前年度比9億円、率にして2.7%増の341億7,000万円を計上しました。

【歳入】

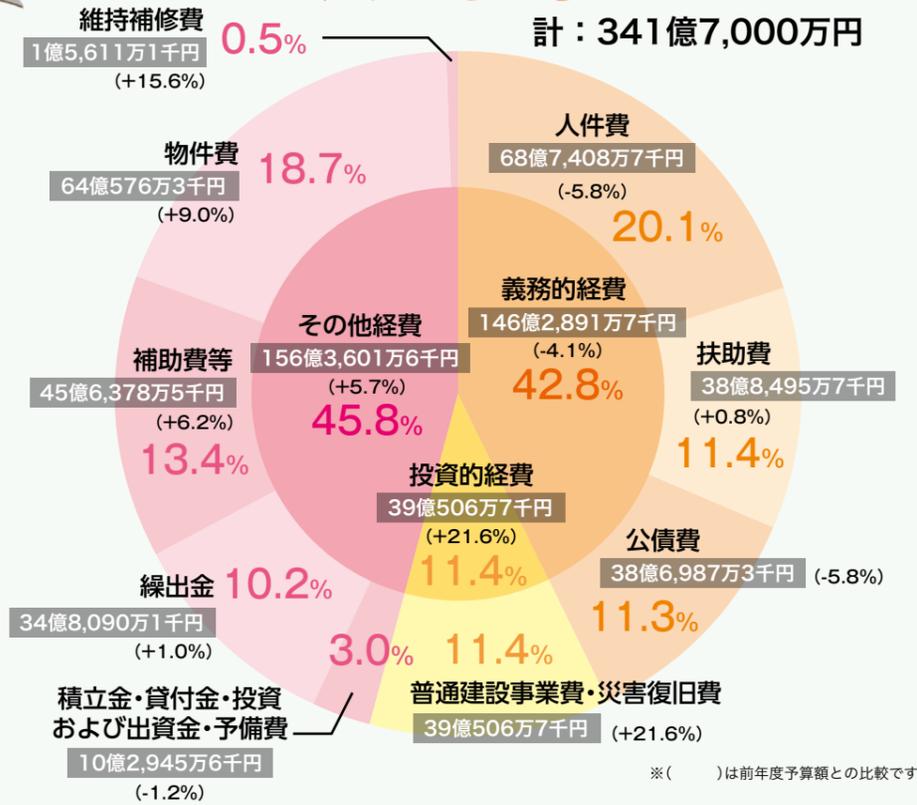
歳入予算のうち、使い道が決められていない一般財源として、主なものは

- 市税76億6,092万5千円 (前年度比+1.1%)
 - 地方交付税111億円 (前年度比±0%)
 - 地方譲与税・交付金22億8,500万円 (前年度比+6.4%)
- また、寄附金については、ふるさと三豊応援寄附金(ふるさと納税)などで、10億5,005万円(前年度比+20%)を計上しています。

市の「貯金」である基金からの繰入金は、31億831万9千円(前年度比+8.0%)を計上しています。

一方、市の「借金」である市債については、大浜コミュニティセンター(仮称)建設工事などで、25億8,550万円(前年度比+49.6%)を計上し、主に合併特例債を活用した資金調達を計画しています。

歳出



※()は前年度予算額との比較です

【歳出】

歳出予算のうち義務的経費では、人件費68億7,408万7千円(前年度比+5.8%)、公債費38億6,987万3千円(前年度比+5.8%)、扶助費38億8,495万7千円(前年度比+0.8%)を計上しています。給料や退職手当組合負担金などの減により、義務的経費全体が前年度比減となりました。

投資的経費は39億506万7千円(前年度比+21.6%)で、主な事業は、大浜コミュニティセンター(仮称)の建設工事や財田こども園の増築工事などです。その他の経費は15億6,360万6千円(前年度比+5.7%)で、業務委託や公共施設の維持管理経費、補助金、特別会計や病院事業会計への繰入金などです。

用語解説

歳入

自主財源：
市が自主的に収入できる財源(市税、使用料、財産収入など)

依存財源：
国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源(地方交付税、国庫支出金、県支出金など)

合併特例債：
合併した市町村が、新しいまちづくりのための財源として借り入れることができる地方債

歳出

義務的経費：
その支出が義務付けられ、任意に節約ができない経費(人件費、扶助費、公債費)

投資的経費：
道路や施設などの整備に使う経費(普通建設事業費・災害復旧費)

その他経費：
上記以外の経費(物件費、補助費、積立金など)

特別会計

単位:千円

会計名	令和5年度	令和4年度
国民健康保険事業特別会計	7,547,000	8,012,000
国民健康保険診療所事業特別会計	152,000	155,000
後期高齢者医療事業特別会計	1,228,000	1,174,000
介護保険事業特別会計	7,563,000	7,830,000
介護サービス事業特別会計	85,000	93,000
集落排水事業特別会計	205,000	200,000
浄化槽整備推進事業特別会計	225,000	228,000
港湾整備事業特別会計	23,000	22,000
国道用地先行取得事業特別会計	405,000	203,000
特別会計の計	17,433,000	17,917,000

企業会計

単位:千円

企業会計	令和5年度	令和4年度
病院事業会計 「みとよ市民病院・西香川病院」	2,420,409	3,374,123

▼問い合わせ

財政経営課

73・3010